



## どこでも通用する人物

### ～ 服装や言葉遣いを考える ～

3年生が進路決定に向けて面接原稿を担当の先生に提出していました。職員室で先生方も一生懸命文言のチェックをしていました。この時期になると3年生は、面接練習もはじまります。私も高校入試での面接をもちろん受けました。最近では、教頭試験や校長試験の時に面接を受けました。面接時の服装や言葉遣いには、気をつけていました。詫間中学校で気になっていることの一つに「言葉遣い」があります。休み時間に奇声を発する生徒、目上の人（教職員や先輩）に対する話し方は、どこでも通用する生徒とは思えません。「親しき仲にも礼儀あり」です。普段の生活から意識して下さい。ご家庭でもご指導よろしくお願ひします。どこでも通用する人物とは・・・



#### ○ 責任感が強い

責任感を持って仕事をする事は、全ての人に求められます。自分に与えられた仕事は、必ず最後までやり抜く。たとえ失敗してしまったとしても、それを次への糧として成長し続ける。このような人物は評価も高くなります。どんな環境においても活躍している人は、強い責任感を持っています。

#### ○ 自己管理能力が高い

自分の力を出し切るためには、自己管理をすることが大切です。優れた人物は自分の体調に常に気を配り、バランスの取れた食生活を送りながら、睡眠時間もしっかりと確保します。また、休日には適度な運動も欠かしません。自己管理を行い、いつでも自分の実力が最大限発揮できるように準備しておく。このような人物こそ、どんな環境でも活躍できるのです。

#### ○ 向上心が高い

何をするにしても、高い向上心は欠かせません。向上心が高い人は、どんな環境に置かれていても「ここから何を学べるだろうか」と常に考えてスキルを磨き続けます。このような姿勢を持っているからこそ、成長し続けられるのです。どこへ行っても通用する人物は、全員高い向上心を持っていると言っても過言ではありません。

#### ○ 分からない事があれば積極的に質問する

分からないことが出てきた時に周囲に積極的に質問できる人物は、一般的に仕事が早いです。仕事をしていて不明な点に遭遇した時、自分一人で悩んでいても時間ばかりが過ぎてしまいます。そんな時、どこでも通用する人物は上手く周囲に頼って、素早く疑問を解決します。一つ一つの物事を円滑にこなしていく人物は、どのような環境でも良い評価を受けます。

#### ○ 臨機応変な対応ができる

イレギュラーな状況でも冷静に対応できる人物は、どの職場でも評価されます。仕事をしている中で、想定外の事態が発生してしまうのはよくあること。そんな時でもどこでも通用する人物は、決して慌てません。一つの考えにとらわれず、その場に応じた柔軟な対処をし、状況に応じた正しい判断を瞬時にできることが特徴です。

どこでもいかなる場面でも自分らしく実力を発揮するには日々の取り組みが大切です。